

ビワ生育情報

千葉県
平成25年4月号

平成25年3月の気象

平成25年3月の半旬別の気象は表1に示した。平均気温は全ての半旬で平年を上回った。月平均気温は11.8℃で、平年及び前年より2.7℃高かった。

氷点下を下回る日はなかった。

最低極温は全ての半旬で平年と同じか上回った。

降水量は第4半旬を除く5半旬で平年を下回り、第2半旬には降雨がなかった。月合計は69mmで、平年より113mm(62%)、前年より131mm(66%)少なかった。

日照時間は第2～第5半旬で平年を上回った。月合計は189時間で、平年より35時間(23%)、前年より33時間(21%)多かった。

表1 平成25年3月の気象（暖地園芸研究所）

半旬	気温(℃)			氷点下日数(日)			最低極温(℃)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	8.4	7.6	7.0	0	0.9	0	1.2	0.0	3.2
2	14.1	8.2	10.1	0	0.8	0	3.9	0.5	3.2
3	10.3	8.9	7.0	0	0.7	0	0.8	0.8	0.3
4	15.1	9.5	9.5	0	0.4	1	3.9	1.8	-0.7
5	11.8	9.8	10.2	0	0.3	0	6.3	2.2	3.7
6	11.2	10.5	10.7	0	0.2	0	3.9	2.4	0.2
平均/計/最低値	11.8	9.1	9.1	0	3.3	1	0.8	-1.4*	-0.7

*：3月の過去38年間の最低極温の平均値

半旬	降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	9	26	90	23	26	7
2	0	23	47	47	26	6
3	12	27	0	33	25	43
4	28	21	23	38	24	21
5	7	47	34	34	24	31
6	14	39	6	14	29	47
合計	69	182	200	189	154	156

5月の作業（果実の発育は次ページ）

ビワの袋掛けも終わり、展葉の終わった新葉は濃緑色になり、果実は成熟期を迎える。収穫の最盛期は6月であるが、5月からは早生品種の収穫が始まる。

収穫

早いところでは早生品種の収穫が5月の中旬頃から始まるので、収穫前にモノレールや索道、道路を整備するとともに園内の草を払っておき、収穫道具や出荷用箱を揃えておく。

1 樹の収穫は 2～3 回に分けて完熟果実を収穫するが、特に 1 回目の初収穫では未熟果が混入しないように果色をよく確認して収穫する。

台木の養成

ビワの苗木は、生産しているところが少ないので、自家生産しなければならない。収穫した果実から種子を採り、種まきして、台木用の実生苗を確保しておく。「楠」の実生は、播種後の生長が早く、根張りが良いので、台木に適している。台木は播種後 2、3 年間養成して、幹が直径 1.5cm 程度の太さになったものを用いる。実生苗は、降雨によってごま色斑点病が伝搬し枯死するので、ビニールで屋根掛けして雨水を遮断する必要がある。

果実の発育

4 月 1 日現在のビワの果径は表 2 に示した。横径は「楠」が 1.46cm、「大房」及び「田中」は 3 地区の平均でみるといずれも 1.36cm であった。3 品種共に平年より 8～13% 小さく、前年に比べ「楠」は 11% 大きかったが、「大房」及び「田中」はほぼ前年並みだった。

縦径は「楠」が 2.02cm、「大房」及び「田中」は 3 地区の平均でみるといずれも 1.78cm であった。「楠」は平年並の大きさで、「大房」及び「田中」は平年より 9～10% 小さく、前年に比べ「楠」は 13% 大きく、「大房」及び「田中」は前年並みだった。

果形指数は「楠」が 0.72、「大房」及び「田中」は 3 地区の平均で見るとそれぞれ 0.77、0.76 であった。本年の果形指数は平年より低く、縦長の傾向である。

4 月時点の果実の発育は、3 品種共に平年より遅れているが、3 月の高温の影響で著しく進んだ。本年は着花房率が高かったが、寒害を被った幼果は少なかったため、着果量は平年より多い。病虫害はクワゴマダラヒトリの発生が平年よりやや多くみられ、果実の被害程度も平年よりやや多い。果樹カメムシ類の越冬量は、南房総市ほか県南地域で平年より少ないが、今後の発生予察情報を参考にす。カメムシの発生の多い園では、4 月以降ビワ園への飛来に注意を要する。

表 2 果実の発育 (4 月 1 日の果径)

品 種	調査地	横径 (cm)			縦径 (cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	暖地園研	1.46	1.59	1.31	2.02	1.96	1.79	0.72	0.81	0.73
	青 木	1.37	1.61	1.27	1.74	1.99	1.80	0.79	0.80	0.71
大 房	南 無 谷	1.40	1.67	1.19	1.82	2.07	1.72	0.77	0.80	0.69
	暖地園研	1.32	1.49	1.46	1.78	1.88	1.83	0.74	0.79	0.80
	平 均	1.36	1.57	1.31	1.78	1.96	1.78	0.77	0.80	0.73
田 中	青 木	1.34	1.60	1.19	1.73	2.00	1.72	0.77	0.80	0.69
	南 無 谷	1.28	1.55	1.45	1.71	2.03	1.95	0.75	0.76	0.74
	暖地園研	1.46	1.51	1.38	1.90	1.93	1.77	0.77	0.78	0.78
	平 均	1.36	1.56	1.34	1.78	1.98	1.81	0.76	0.79	0.74

果形指数：横径／縦径

平年：1986年～2012年の27年間の平均。ただし、南無谷は1998年～2012年の14年間の平均。

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹・環境研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nousui/nourinsuisan/nourinsuisan.html>

